



---

# 新国民運動・官民連携協議会 第7回会合

『デコ活』（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）

---

令和5年7月21日（金）



## 到達 目標

新国民運動「デコ活」に関する最新状況、会員の提案・要望等を共有し、意見交換等を通じて、相互の連携と理解を深める。

7月21日（金）10時00分～ オンライン

### ① 環境省・各府省・事務局からの説明

1. これまでの動き（報告）
2. 新国民運動の愛称決定と活用提案（募集）
3. G7プラットフォーム、G20連携ワークショップ等（募集）
4. イベント用展示ツールの配付（募集）
5. 内閣府・厚生労働省・農林水産省からの説明（募集等）

### ② 協議会会員からのプロジェクト提案、意見、要望など

### ③ 次回情報

#### 質疑応答、意見交換時の留意事項

- 多くの方に発言いただけるよう、発言は簡潔明瞭に1～2分程度でお願いします。
- 発言を希望される方は、Zoom上で挙手又はQ&Aへの送信をお願いします。
- 直前の発言に関連した質問等がありましたら、Q&Aに「関連」と送信してください。

# 新資本主義実行計画・骨太方針

- 新資本主義実行計画及び骨太方針において、新国民運動による国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革を促し、脱炭素製品の需要を喚起することが重要施策として位置付けられました。

## 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画

## 骨太の方針

### 政策概要

- 新しい資本主義実現会議によって策定（議長：岸田総理）
- 令和5年6月16日閣議決定

- 経済財政諮問会議によって策定（議長：岸田総理）
- 令和5年6月16日閣議決定

### 新国民運動 関連の記載 (抜粋)

#### ③持続可能な地域経済社会の実現

- i) 消費者の行動変容、地域主導の取組の推進 地域・くらしの脱炭素化を実現するため、国民運動を通じ、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革を促し、需要を喚起する。  
(後略)

「成長戦略等のフォローアップ案」

(前略)「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしをつくる国民運動」を通じ、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革等を促すため、グリーンライフ・ポイントやナッジの活用等も含めたロードマップを2023年度中に策定する。

(前略)

新たな国民運動の全国展開等により、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革を促し、脱炭素製品等の需要を喚起する。環境制約・資源制約の克服や経済安全保障の強化、経済成長、産業競争力の強化に向け、産官学連携のパートナーシップを活用しつつ、サーキュラーエコノミー（循環経済）の実現に取り組む。(後略)

# G7 広島サミット/G20開発大臣会合

- G7 広島サミットにおいて気候及び環境・エネルギーに関して、需要側における更なる脱炭素化の取組の必要性を認識する旨のコミュニケが発表されました。サミット会場では、本協議会の複数の参画団体にパネルでの展示をいただきました。
- G20開発大臣会合では、地球環境を守るためのライフスタイルの変革・行動変容等について議論が行われました。

## G7 広島サミット開催概要

日程	令和5年5月19日(金)~21日(日)	参加国等	参加国：日本、米国、イタリア、英国、カナダ、ドイツ、フランス、欧州連合(EU)他、招待国、招待機関及びゲスト国
----	---------------------	------	---

G7 広島声明書  
(コミュニケ仮訳 #19抜粋)

(前略) 我々は、供給側の措置について更なる行動を取るとともに、インフラや材料の使用の変更の促進、最終用途技術の採用、**持続可能な消費者選択の促進など、需要側における更なる脱炭素化の取組の必要性を認識する。**(後略)

官民連携協議会参画団体によるパネル展示の様子



## G20開発大臣会合

日程	令和5年6月11日(日)~6月13日(火)
----	-----------------------

参加国等	参加国：日本、インド、イタリア、英国、米国、欧州連合(EU)などG20各国他、招待国、招待機関
------	---

G20開発大臣会合  
(コミュニケ仮訳 #4抜粋)

我々は、地方政府及び地域政府を含む各国政府、国際機関、民間セクターその他の非国家主体及び個人に対し、知識、専門的知見及びベストプラクティスを共有し、あらゆる資金源からの十分で手頃でアクセス可能な資金を動員するための国際的な協力及びパートナーシップを強化するべく、**特に持続可能な開発のためのライフスタイルを受け入れることによって、持続可能な消費及び生産のパターンを促進することを奨励する。**

# スモールグループの進捗状況

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
①住宅	120	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者にとってストック（既存住宅）の省エネ化の優先度を向上させる取組方法の策定</li> <li>断熱における課題の特定と、消費者の関心を高める効果的な訴求方法の検討</li> </ul>
②インセンティブ/ポイント	134	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の行動を変容させる、効果的なインセンティブの策定</li> <li>インセンティブを用いた脱炭素の啓発方法検討</li> </ul>
③モビリティ	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーがエコドライブ等の取組を自発的、もしくは能動的に実施可能な仕組みの形成方法検討</li> </ul>
④食	92	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業間連携により、自律分散型の地産地消を実現できる具体手段の検討</li> <li>食の生産、物流の中で、最も脱炭素へのインパクトが大きい分野の特定</li> </ul>
⑤宅配/通販	64	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコドライブの訴求方法検討</li> <li>利用者の利便性と環境への配慮の判断軸の策定</li> </ul>
⑥サステナブルファッション	73	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の衣服リサイクルへの意識を向上させる訴求手段・方法の検討</li> </ul>
⑦教育	102	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員へ向けた学習環境の整備方法の検討</li> <li>子供が自分ごととして行動できる教育方法の策定</li> </ul>
⑧GHG見える化	146	<ul style="list-style-type: none"> <li>見える化から、行動変容に繋がる仕組みの策定</li> </ul>

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
⑨プラスチック	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクルの原料収集、原料の選別等の、リサイクルの各工程における課題の特定</li> <li>上記を解決する技術・運用方法の共有・策定</li> <li>マイボトル等の、消費者を巻き込んだプラスチック削減方法の策定と、課題の特定</li> </ul>
⑩意識啓発	136	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネに対するネガティブイメージを払拭するための対応方針策定</li> <li>知識の蓄積のみならず、環境問題を自分ごととして捉え、行動を促すための啓発方法の策定</li> <li>脱炭素を啓発する適切なターゲットの選定</li> </ul>
⑪ワーケーション	54	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ活用に向けた実証実験とワーケーションを融合した取組事例の共有</li> <li>地域住民との効果的な連携方法の策定</li> </ul>
⑫生物多様性	84	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性の数値化、計算方法の検討</li> <li>企業の生物多様性保全に向けた行動指針策定</li> </ul>
⑩廃棄物	84	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物のリサイクルにおける課題・原因の特定 ⇒全国規模の一斉回収が難しい ⇒コストが高い（特に複合素材のリサイクル） ⇒運輸時にCO2が排出される</li> </ul>
⑭若者	51	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の環境配慮型商品への購買意欲を向上させる取組方法の検討 ⇒企業間イベント、インセンティブ付与の検討</li> </ul>

※人数は7/11時点での申込者数

# 脱炭素で豊かな暮らしのためのG7プラットフォーム・G7-20ワークショップ

- 協議会の皆様に、「脱炭素で豊かな暮らし（ウェルビーイング）のためのG7プラットフォームでの掲載事例及びオンラインワークショップでの情報発信希望の再募集を行います。

## 1. G7プラットフォーム概要

- 需要側対策は削減余地が大きく、IPCC報告書においても位置付けられており、G20議長国であるインドとも連携して、消費者の行動変容を促すことが重要。
- このため、G7札幌にて「脱炭素で豊かな暮らし（ウェルビーイング）のためのG7プラットフォーム」を新たに立ち上げることに合意。**消費者の行動変容の促進等の需要対策に関するG7の政策・良好事例について、Webにより情報共有・発信する。**

## 2. G7-20連携オンラインワークショップの開催

- 需要側・消費者の行動変容が気候変動対策に重要との共通認識の下、生活様式の変化や持続可能な消費者選択に関するオンラインワークショップの開催する。（次スライド参照）

## 協議会の皆様にお願いしたいこと

内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. G7プラットフォームに掲載する事例の再募集を行います。 消費者の行動変容の促進等の需要対策に関する良好事例の以下掲載内容の募集をさせていただきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 取組・製品・サービスのタイトル</li> <li>• 内容</li> <li>• 団体名・問い合わせ先</li> <li>• 内容に関する情報ページURL</li> <li>• 関連画像</li> </ul> </li> <li>2. オンラインワークショップ等での情報発信希望をお聞きいたします。（テーマ等の内容は検討中）</li> </ol>
言語	英語での提出をお願いいたします。
期間	令和5年7月21日（金）掲載事例の再募集開始 令和5年 <b>8月25日（金）</b> までにご提出をお願いいたします。
応募方法	協議会后にメールでご案内と掲載フォーマットを送付させていただきます。

## オンラインワークショップ/COP28サイドイベントでのセミナー（予定）開催

- 11月に、需要側における脱炭素化の取り組みに関するオンラインでのワークショップを開催予定。また、COP28サイドイベントでのセミナーを開催し、オンラインワークショップのまとめや各テーマに沿ったプレゼンテーションなどを実施予定です。

### オンラインワークショップ開催 概要

日程	令和5年11月（予定）
参加者等	日本、米国、イタリア、英国、カナダ、ドイツ、フランス、欧州連合(EU)等の事業者、及び国際機関（予定）
開催場所	オンライン
内容	・3～4つのテーマそれぞれについて、事業者によるプレゼンテーション、Q&Aなどを交え、知見の共有やテーマへの理解促進へつなげる。

### COP28サイドイベントでのセミナー（予定）開催概要

日程	令和5年12月（予定）
参加者等	各国の政府関係者、事業者など
開催場所	COP28ジャパン・パビリオン会場
内容	オンラインWSの成果（議論の内容）の共有・周知、各テーマに沿ったプレゼンテーションなど。

・オンラインワークショップでの情報発信希望をお聞きいたします。（令和5年8月25日(金)〆切） 6

## COP28ジャパン・パビリオン設置に伴う展示の募集



- 令和5年7月14日（金）に、インフラ参事官室より報道発表がございましたとおり、COP28でのジャパン・パビリオンにおいて、製品・サービスを実地展示いただける企業・団体を募集しております。

## ジャパン・パビリオン展示募集概要

- 令和5年11月30日（木）～12月12日（火）にアラブ首長国連邦（UAE）・ドバイで「国連気候変動枠組条約第28回締約国会議（COP28）」が開催されます。
- 環境省は日本の優れた製品・サービスと気候変動に対する取組を世界に向けて発信するため、COP28開催に合わせ、展示やサイドイベントを実施する「ジャパン・パビリオン」を設けます。
- つきましては、ジャパン・パビリオンにおいて世界の脱炭素化や気候変動適応に貢献する製品・サービスを出展する企業、団体を募集します（オンラインでの展示については別途募集します）。

## 【インフラ参事官室の報道発表URL】

- [https://www.env.go.jp/press/press\\_01887.html](https://www.env.go.jp/press/press_01887.html)

## 協議会の皆様をお願いしたいこと

## 内容

COP28ジャパン・パビリオンにおける実地展示製品・サービスの募集をしております。

- 募集团体数：8～10社程度(仮)  
※出展可否については、ジャパン・パビリオン選定委員会にて厳正な審議の上決定いたします。
- 展示内容：パビリオンテーマ「**Together for Action (仮)**」を軸とし、適応 (Adaptation) / 緩和 (Mitigation) / 活用 (Utilization) などのカテゴリに分けた展示を想定しています
- 展示場所：EXPO CITY DUBAI ジャパン・パビリオン内
- 展示期間：令和5年11月30日(木)～12月12日(火)  
※設営期間は未定

## 期間

令和5年7月14日(金)に出展企業を募集開始  
令和5年8月10日(木)16時までにご提出をお願いいたします。

## 応募方法

令和5年7月14日(金)及び協議会資料送付時に、メールにてご案内とインフラ参事官室の報道発表URLを送付しております。出展したい展示物の情報をURL内の「出展物基本情報シート」に記載の上、COP28ジャパン・パビリオン事務局 [info@cop28japan.jp](mailto:info@cop28japan.jp) までメール添付にてご提出ください。  
※令和5年8月10日(木)16時必着



# 新国民運動の愛称決定と今後の活用

- 新国民運動の愛称を公募した結果、計8,200案のご応募をいただきました。委員による選定の結果、新国民運動の愛称は、「デコ活」に決定しました。奮ってご活用ください！

## 愛称発表会の様子



## 愛称の由来

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を減らす(DE)脱炭素  
(Decarbonization)と、  
環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"  
と  
活動・生活

を組み合わせた新しい言葉

デコ活の①具体的な使用提案や、②使用を促すために必要な方策・意見をお寄せください。(〆切8月25日(金))

# 地球温暖化対策の意識啓発ツール等の配付について

- 地球温暖化対策の意識啓発のための展示ツール、ノベルティ等（COOL CHOICE関連）を官民連携協議会会員の皆様に配付します。配付を希望される方は事務局までご連絡ください。

## ツール等配付の概要

### 応募方法

- ツール等の配付を希望される方は、注意事項及び別紙の物品一覧表をご確認の上、Excelへ必要数量を記載の上、**令和5年8月25日（金）**までに事務局へご連絡ください。

### 応募時の 注意点

- 希望の重複等、ご希望に沿うことができない場合がありますので、予めご了承ください。
- 配付する物品に関しましては、地球温暖化対策の意識啓発以外の目的に使用しないでください。
- 送料につきましては、原則、着払いとさせていただきます。なお、納付書払いを希望する場合は事前にご連絡ください。
- 配付時期は令和5年10月頃を予定しております。

## ツール一例

各種ポスターや、パネル、ステッカー、POP等がございます。



# 新規の連携実践プロジェクト（1/2）



- 新たに5つのプロジェクトについて一緒に取り組む各連携先を、皆様から募集します。
- 各プロジェクトへのご参画に少しでもご関心ある場合は、協議会終了後、事務局まで是非ご連絡ください。
- なお各プロジェクトの内容に関するご質問は本日の質疑応答の場でいただければ幸いです。

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

##### 提案者

静岡鉄道

「COOL CHOICE 2023 in しずおか」を企画・開催

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

##### 提案者

静岡鉄道

静岡市内の小学生に対し、11月18,19,23,25,26日のいずれかで利用可能な一日フリー乗車券を約32,000枚配付

企業・団体

ゼロカーボンアクションを体験・学べるイベントブースの出展 (@グランシップ大ホール)

連携先募集:  
8月から予定

企業・団体

11月に静岡市内で実施予定のイベントがあれば、情報発信での協力など、周遊企画と連携

連携先募集:  
9月未まで

応援拠点

### COOL CHOICE 2023 inしずおか

- 内容：
  - ①静岡鉄道の電車とバス一日フリー乗車券の配付の支給と沿線付近のイベントとの連携により、CO2排出量の少ない鉄道利用を促進する周遊企画
  - ②ゼロカーボンアクションに関する体験・学べる場所の提供
- 日時：令和5年11月
- 場所：静岡市内

普及・啓発

### 高校生向けの啓発ワークショップ「Blue Earth 塾」の開催

- 内容：全国各地の高校で、生徒に対し脱炭素製品の開発・普及をテーマに思考・議論を促すワークショップを開催
- 場所：宮城県(11月) 福岡県(12月)

高校

ワークショップが実施される場を提供することで、自校の生徒がサステナビリティについて学ぶ機会を用意

##### 提案者

NPO法人 Blue Earth Project

ワークショップの事前準備、当日ロジ、事後のアンケート調査といった運営面を担当

企業

特定の商品や企業として脱炭素に取り組む上での課題感を、ワークショップにおける議論のテーマとして共有

連携先募集:  
8月未まで

# 新規の連携実践プロジェクト（2/2）



- 新たに5つのプロジェクトについて一緒に取り組む各連携先を、皆様の中から募集いたします。
- 各プロジェクトへのご参画に少しでもご関心ある場合は、協議会后事務局まで是非ご連絡ください。
- なお各プロジェクトの内容に関するご質問は本日の質疑応答の場でいただければ幸いです。

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

#### 企業・団体名 期待される役割

<p>応援拠点</p>	<p>生産時のCO2排出量が少ない「ラウひらたけ」の認知拡大と生産技術の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：自然由来のリサイクル原料とボイラー不使用の発酵技術による省エネ栽培で作られ、また農薬・添加物不使用のきのこ「ラウひらたけ」を採集体験できる場の提供と生産技術の展開</li> </ul>	<p>食品小売事業者</p> <p>「ラウひらたけ」を菌床から採集体験できる場所を提供</p> <p>連携先募集：随時</p>	<p>提案者</p> <p>楽々</p> <p>採集体験のための菌床の提供と、生産技術の普及啓発、提供</p> <p>農家企業</p> <p>農地や遊休不動産を活用し、茸菌床製造・茸生産技術と生産後の菌床を堆肥化する技術を活用した農業の展開</p> <p>連携先募集：随時</p>
<p>普及・啓発</p>	<p>「0円服の交換会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：参加者が着なくなった服を持ち寄り、持ち寄った枚数と同数の衣服を無料で持ち帰ることができる衣服の交換会の開催</li> </ul>	<p>自治体・百貨店・その他企業</p> <p>「0円服の交換会」の開催場所の提供 継続して自主的に運営するための体制構築</p> <p>連携先募集：随時</p>	<p>提案者</p> <p>ワンピース</p> <p>「0円服の交換会」を主催し、衣服の管理や当日の運営を担当</p>
<p>普及・啓発</p>	<p>熱中症対策を促すCMの作成・放映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：NBS長野放送が熱中症対策を促すキャンペーンCMを制作する中で、対策の手段となるような製品・サービスを提供する企業と連携してCMを放映</li> <li>日時：令和5年7月～9月下旬</li> </ul>	<p>提案者</p> <p>NBS長野放送</p> <p>熱中症対策を促すCMを10パターンほど作成し、9月にかけて自社の番宣等の広報枠を使って放映</p> <p>企業</p> <p>熱中症対策に貢献する商品をCMにて紹介（キャンペーンCMとのカップリング展開想定）、その他協賛により幅広い放送枠で放映</p> <p>連携先募集：8/10まで</p>	

■ 株式会社DATAFLUCTと松本山雅FCによるCO2削減行動の促進実証が行われました。

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

### 「製品・サービス」の提供者

行動促進

becoz challengeのご紹介  
「松本山雅FC ゼロカーボンチャレンジ」  
実証結果

松本山雅

- ・シャトルバスでのスタジアムへの来訪による自家用車利用の削減
- ・電気自動車でのスタジアム来訪によるガソリン車の利用の低減
- ・地産地消のスタジアムフードの提供など

実施者

株式会社  
DATAFLUCT

- ・アプリケーションによるアクションの提供
- ・アクションログの把握
- ・CO2排出量の把握

# 予算要望/キャンペーン/意見提案/取組・製品・サービスの取り組み登録について

予算要望	件数	概要
募集期間：2023年5月12日(金)-6月24日(金)	8件	いただきました主な意見は、インセンティブ、食、宅配/通販などテーマは多岐にわたりました。(ご意見詳細は別紙Excelをご確認ください)
キャンペーン		
募集期間：2023年5月12日(金)-6月24日(金)	2件	「脱炭素による農産物・食品」について、「エコフード」について、ご意見を頂戴いたしました。
ご意見・ご提案		
募集期間：2023年5月21日(金)-6月24日(金)	10件	「住宅省エネ(断熱など)」、「連携実践・普及啓発」「インセンティブ付与」等について、ご意見・ご提案をいただきました。(ご意見詳細は別紙Excelをご確認ください)
取組・製品・サービス		
カテゴリー	件数	概要
(1)応援拠点(体験・体感の場)	1件	・取組登録) 新宿御苑や幕張メッセでのエコイベント実施
(2)住宅省エネ化(断熱等)促進キャンペーン	1件	・取組登録) 神戸市、札幌市等と連携した省エネに関する動画作成の紹介
(3)服装・サステナブルファッション	0件	-
(4)デジタルワーク	0件	-
(5)連携実践プロジェクト・普及啓発キャンペーン	0件	-
(6)インセンティブ付与(グリーンライフポイント等)・効果的な情報発信(ナッジ)	0件	-
(7)地域独自の豊かなくらし	0件	-
(8)その他の施策	1件	市民グループで省エネ・節電に努め、CO2削減量を買回し「節電所」の取り組みの紹介

## 新規提案、意見等の 提出

第8回協議会に向け、**8月25日(金)**までに、奮って新規提案、御意見等の提出をお願いします。

また、本日紹介したプロジェクトについて、参画希望等があれば、事務局までご連絡ください。

## 第8回官民連携協議会

日時：

- ・ 9月8日(金) 10時~、オンラインで実施予定

議事内容(現時点想定)：

- ・ 予算概算要求等の報告
- ・ 10年ロードマップの議論
- ・ 新規提案プロジェクト など

参加が難しい方向けに協議会動画の共有を行っております。ご意見等も承りますので事務局までお気軽にご連絡ください。

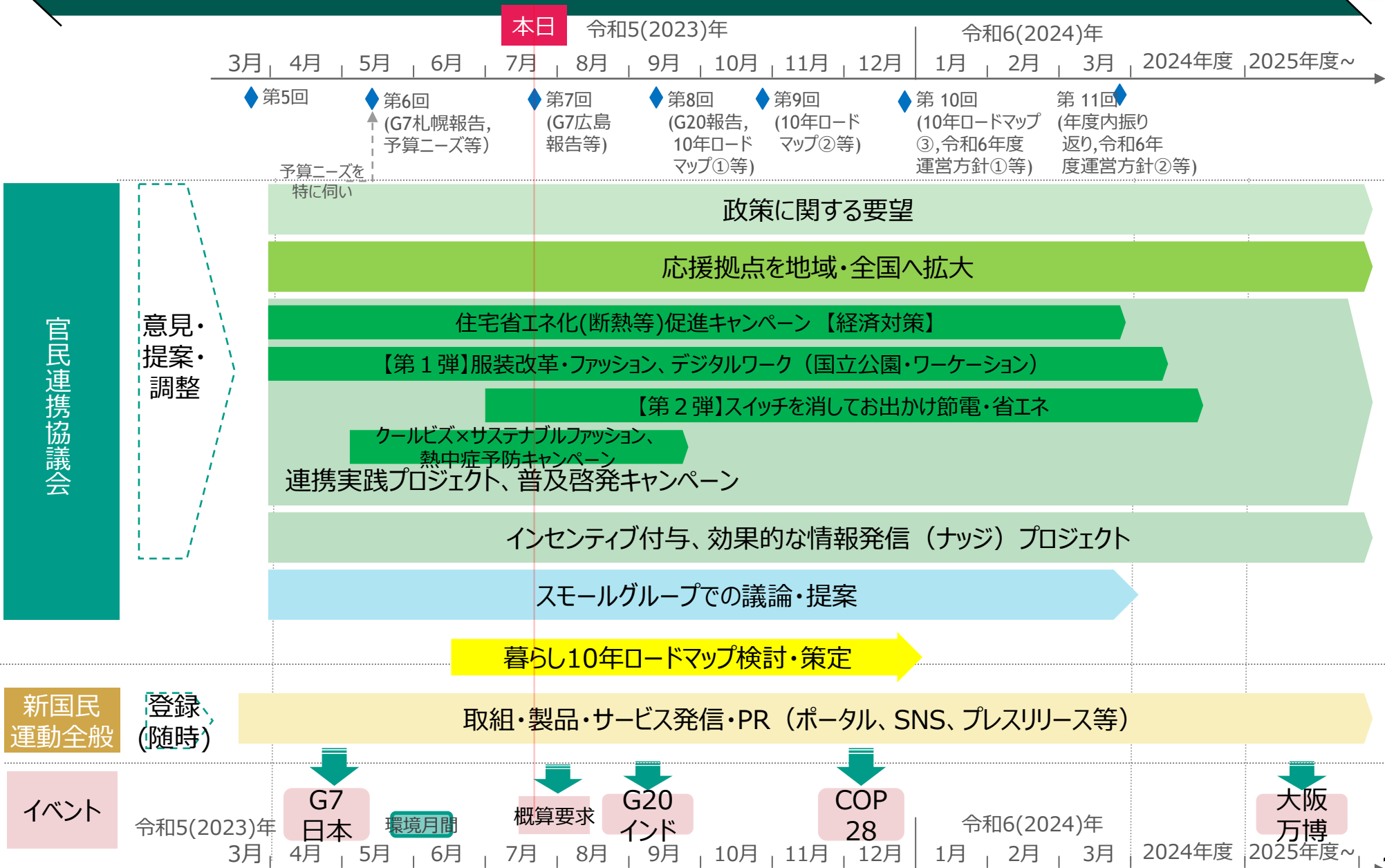
---

## 卷末資料

---



# 2023年以降のタイムライン



官民連携協議会

意見・提案・調整

登録(随時)

新国民運動全般

イベント

[xx]: 前回協議会からの更新箇所

### プロジェクト内容

### 参加企業・団体

#### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

#### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

応援拠点

- 「100万人のキャンドルナイト@増上寺2023」に連動した施設の消灯協力
- 内容：東京タワーなど増上寺周辺施設を消灯し、キャンドルの灯りの下で持続可能な社会について考えるイベントを開催  
<https://candle-night.tokyo/>
  - 日時：2023年6月21日

提案者  
大地を守る会

「100万人のキャンドルナイト@増上寺2023」のイベント主催、ブース出展の呼びかけ、当日の運営・進行

企業  
イベントの開催日とその前の期間（6/14-21）の20-22時の間に、消灯に協力  
また取組をSNS等で発信  
※スモールグループにて募集済み

応援拠点

- 「読売カーボンニュートラル・デイ Vol.3」でのパネルディスカッション
- 内容：脱炭素をテーマにしたオンラインフォーラムにおいて、産官学の識者が登壇し知見の共有と議論を実施
  - 場所：都内ホール
  - 日時：2023年8月30日

提案者  
読売新聞

「読売カーボンニュートラル・デイ Vol.3」を主催し、また読売新聞全国版朝刊にて広報展開

企業  
暮らしの中の脱炭素をテーマとするトークイベントへの登壇  
※スモールグループにて募集済み

応援拠点

- 紙コップの水平リサイクル構築に向けた実証事業
- 内容：紙コップを消費者自らが洗浄することを前提とした消費者参加型の紙コップの水平リサイクルモデルの構築にあたり、課題の把握、解決策の検討を実証的に行う
  - 日時：2023年度

企業・団体  
・自治体

食堂など紙コップが使用される場に、紙コップの洗浄機と回収箱を設置。また紙コップ洗浄機の定期的なメンテナンスを実施  
連携先募集：9月末まで

提案者  
東罐興業（東洋製罐GHD）

企業・団体  
紙コップの一次洗浄（使用直後の簡易な洗浄）機械の供給  
リサイクル原紙から紙コップを生産  
一次洗浄された紙コップの回収・保管  
二次洗浄（工場での本格的な洗浄）の実施  
連携先募集：12月末まで

xx: 前回協議会からの更新箇所

### プロジェクト内容

### 参加企業・団体

応援拠点

#### 環境・防災の啓発活動／製品PR

- 内容：気象キャスターによる環境・防災の啓発活動とともに、環境配慮型の製品・サービスをPR
- 日時：2023年度
- 場所：学校、公民館、科学館

(※上記前回協議会時点の情報)

#### 「場・機会」の提供者

##### 企業・団体名 期待される役割

学校	全国の小学校・中学校・高等学校での出前授業を開催
公民館や科学館	イベント・講座を開催
企業	イベント会場の提供 <b>連携先募集：随時</b>

#### 「製品・サービス」の提供者

##### 企業・団体名 期待される役割

提案者 NPO法人 気象キャスターネットワーク	啓発活動、企業様の環境配慮型の製品・サービスのPRを実施
企業	脱炭素に貢献する製品・サービスを紹介、気象キャスターネットワークを連携してPRを実施 <b>連携先募集：随時</b>

普及啓発

#### 「命を守る一部屋（健康省エネルーム推進事業）」の実施

- 内容：健康省エネルームを拡大するため、改修費用を一部補助し、また地域住人・事業者へ普及啓発活動を実施
- 日時：2023,24年度  
(2023年度、全国6自治体においてモデル事業を推進)

国土交通省	住宅の省エネ性能を向上させる改修を行った主体に対し、設計等費及び改修工事費の一部に補助金を交付
地方自治体	国土交通省と共に、改修かかる費用に対し補助金を交付（社会資本総合整備交付金を充当） <b>連携先募集：随時</b>

#### 提案者 健康・省エネ住宅を推進する国民会議

健康・省エネ住宅を推進する国民会議	事業全体の事務局として各自治体と連携先となる事業者を結び、啓発イベントや講習の開催・運営を担当
建築事業者	地域の改修業者に対し、省エネ改修技法の共有や改修指導を実施 地域住民・医療への講習 <b>連携先募集：随時</b>
医療事業者	自治体、地元医療団体・医学部に対し、健康と住環境の関連性に関する学習会を実施 <b>連携先募集：随時</b>
保険事業者	環境改善による健康や介護への影響を医療関係者や自治体と共同調査 <b>連携先募集：随時</b>

[xx]: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

意識啓発

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト&アンバサダーチームによる環境配慮商品の開発・普及の支援

- 内容：著名人が所属する環境省の取組であるアンバサダー制度を活用し、企業・団体・自治体と連携して持続可能なライフスタイルやウェルビーイングを拡大

提案者

The Organic

専門的知見をもったアンバサダーを派遣し、環境配慮型「製品・サービス」の企画・プロモーション支援を実施

NTTドコモ

カボニューアンバサダーと連携し情報発信・イベントの実施（詳細は今後決定）

企業・団体・自治体

アンバサダーを活用した製品・サービスの開発

連携先募集：随時

インセンティブ

国民・消費者の行動を見える化し、ポイント付与

- 地域のゼロカーボン施策の取組と連動する事業モデルの共創

自治体

実証の場及びポイント原資を提供いただける自治体との連携を希望

連携先募集：随時

提案者

アジア航測

実証事業の基盤となるパッケージ「こつこつ(CO2CO2)」(アプリ/サービスを含む)を提供

企業

アプリによる見える化の対象となる製品/サービスを提供する企業との連携を希望

連携先募集：随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

### プロジェクト内容

### 参加企業・団体

#### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

#### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

#### 脱炭素ポイント付与による府民の脱炭素行動後押し

- 内容：小売事業者等が現在運用しているポイントシステムを活用し脱炭素に資する商品・サービスを購入した大阪府の消費者に対してポイントを上乘せ付与

提案者

大阪府

小売事業者等を募るとともに、脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対して、上乘せ付与するポイント原資の一部支援

大阪府内の事業者

脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対して、ポイント付与を実施、効果検証の協力（今年度の参加事業者の募集は終了）

連携先募集：  
随時

インセンティブ

#### 上記の取組を、自治体・事業者へ展開

- 脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対しポイントを上乘せ付与する取組を全国へ展開

提案者

大阪府

上記事業に係る仕組み・実証結果の情報提供

自治体

上記事業の成果等を参考に、大阪府と同様の事業を展開

連携先募集：  
随時

応援拠点

#### 食用油の循環型社会実現の為、廃油回収効率化（回収拠点等の設置・広報）への取組

- 食用油の回収率を上げるとともに、回収効率を改善することで植物油メーカーとの協業による販売から廃食油回収までの循環型社会を実現させる

（※上記前回協議会時点の情報）

コンビニ/GS

廃食用油の回収拠点となる

提案者

モバイルソリューション  
ティーアイシー

廃食用油の回収、SAF燃料への転換

自治体

食用油の回収、資源循環について市民への広報を実施

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

小田急	イベントを開催する場所を提供
-----	----------------

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者	
PlayBlue	衣類回収、古着の物々交換会、染め直しオーダー受付、アップサイクルブランドの展示・販売を実施するイベントを開催

"洋服染め直し"の魅力発信によるアップサイクルプラットフォームの利用促進を通じたアパレルロス削減

- アパレル企業の滞留在庫のアップサイクル、染め直しサービスの提供

"服の循環を生み出す"コミュニティ形成と場の提供によるアパレルロス削減

- 古着の回収/古着の物々交換/染め直しオーダー受付などのアップサイクルの取組を通じた古着の地域循環

ファッショナブル

商業施設においてサステナブルな社会づくりにつながるテーマについて総合的に発信

- 内容：プラスチック削減や廃品回収、森里川海等をテーマにした展示会、子供向けの啓発を目的とした展示会/ワークショップ「SDGs コトモノカレッジ」等
- 場所：そごう（横浜店・千葉店・広島店・大宮店）西武（所沢S.C.・東戸塚S.C.・福井店・秋田店）

応援拠点

#### 提案者

そごう・西武

各店舗において、本取組の企画・主催、場の提供、各種媒体・広報によるプロモーションを行う

企業	サステナブルをテーマとした展示を行う 例) KDDI、東洋製罐GHD ※販売や会員募集は不可	連携先募集: 随時
団体/NPO	サステナブルをテーマとした展示を行う ※販売や会員募集は不可	連携先募集: 随時
自治体	サステナブルをテーマとした展示を行う 例) 埼玉県・所沢市、広島県・広島市	連携先募集: 随時

[xx]: 前回協議会からの更新箇所

### プロジェクト内容

### 参加企業・団体

#### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

#### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

生活者の環境行動を見える化、評価し促進する仕組み、「The POSITIVE ACTION Initiative」の検討

- 内容：環境行動の可視化とライフログの蓄積の仕組みについて2024年度の社会実装を目標に共同検証を行う
- 日時：2022-23年度  
(22年度：構想検討、23年度：実証&実装検討)

自治体

より環境負荷の小さな移動手段への転換や公共交通機関の利用促進のため、住民にインセンティブを付与

連携先募集：  
随時

提案者

パナソニック・  
NTTドコモ・  
楽天・  
Code for  
Japan

企業/自治体  
/NPO/個人

環境行動を評価する基準の統一化

- 環境行動のレベル設計
- CO2削減効果の基準作り

国民の環境行動・CO2削減効果の可視化を可能とする共通プラットフォームの作成

連携先募集：  
随時

インセンティブ

移動や購買におけるCO2排出量の可視化とポイント付与による行動変容の促進

- 内容：CO2排出量の可視化機能とポイント発行機能を搭載したアプリケーションの利用により環境負荷の小さな移動手段、購買活動、飲食への転換を促す
- 日時：2023年4月以降

提案者

ANA X

企業

日常の全ての移動をポイントとして貯め、さまざまな特典に交換できるサービスアプリケーション「ANA Pocket」を提供

移動以外の日常生活行動に伴うCO2排出量の可視化技術、ユニークなエコ製品やサービス提供でアプリと連携

連携先募集：  
随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

### プロジェクト内容

### 参加企業・団体

#### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

#### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

ポイント付与による消費者の行動変容促進（グリーンライフ・ポイント事業）

- 内容：消費者の方々が気軽に環境配慮行動に取り組めるような仕組みを提供し、また環境に良い取組を行う企業・自治体の情報を発信
- 日時：2023年4月-

提案者	KDDI
企業	auPAY加盟店として本取組に参加例) <b>そごう・西武</b>
自治体	地域として本取組に参加

提案者	ポータルサイト「au Ponta ポータル」にて、環境にやさしい製品・サービスを提供するauPAY加盟店の取組の紹介と導線提供 また、消費者の環境に配慮した消費行動に対し、ポイントを付与
企業	auPAY加盟店として本取組に参加例) <b>そごう・西武</b>
自治体	地域として本取組に参加

連携先募集: 随時

連携先募集: 随時

インセンティブ

地域脱炭素・住民の行動変容に向けたポイントの活用

- 内容：地方自治体とのアライアンスを組み、地域ごとに実施
- 日時：2023年4月-

自治体 (脱炭素先行地域)	住民・旅行者等の環境配慮行動を促すため、ポイント付与する施策を実施
------------------	-----------------------------------

連携先募集: 随時

提案者	KDDI
自治体	実証事業の取組主体となる自治体に基盤となるパッケージ（システム/サービスを含む）を提供



xx: 前回協議会からの更新箇所

### プロジェクト内容

### 参加企業・団体

#### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

#### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

お客さまへのインセンティブ（特典）付与により再生可能エネルギー電源の普及促進と地域の環境にやさしい取組・活動を支援

- お客さま（CO2フリー電気、環境活動支援・特典）
- 地域のご支援先（活動等資金のご支援、取組・活動の訴求）
- 当社「三方よし」を目指す

インセンティブ

自治体/企業と連携し、購買データを活用した環境配慮型行動の普及促進

- 地域通貨や各種決済手段等との連携を通じ、買い物の利便性向上/市民参加型のエコへの取組等を促進

提案者

東北電力

再エネ由来の電気の契約によるプレミアム支払いを原資に、東北・新潟地域の環境配慮行動を支援する「ecoでんきプレミアム」の提供

企業/団体  
/NPO/自治体

特典となる商品・サービスをご提供いただける企業・団体だけでなく、以下を満たす活動支援先を募集

- ① 環境にやさしい取組を進める活動
- ② 東北・新潟地域の取組であること
- ③ CO2フリー料金をお支払いいただくお客さまの納得感の得られる活動

提案者

東芝データ

電子レシートサービス・購買データの提供・活用により、買い物における環境行動変容を促す

企業・自治体

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体・企業を募集

連携先募集:  
9月まで

# プロジェクトの進捗状況（個別）

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者
NTTドコモ

脱炭素に向けた活動を行う多様な方（自治体・企業・団体・個人）の声を伝える、中立性・公共性を持ったプラットフォーム「カボニューコミュニティサイト」を提供（<https://caboneu.jp/>）

自治体
-----

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体を募集

連携先募集：  
随時

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

企業
----

カボニューの見える化の対象となる製品/サービスの手上げを募集

連携先募集：  
随時

インセンティブ

中立性・公共性を持ったプラットフォームを通じて脱炭素に向けた活動を行う多様な方（自治体・企業・団体・個人）の声を発信

- 参画者の声をより大きく伝えて国民の脱炭素認知向上



インセンティブ

日常行動の脱炭素貢献を可視化・履歴を蓄積するログ・スコアを通じ、消費者のモチベーション向上を促進

- 日々の生活の中での脱炭素接点を確認し、脱炭素に向けた意識を継続保持



提案者
NTTドコモ

環境サービスの利用状況や移動情報などからCO2削減量や環境配慮への貢献度を見える化するサービス「カボニューレコード」を提供（<https://caboneurecord.web.docomo.ne.jp/>）

自治体
-----

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体を募集

連携先募集：  
随時

企業
----

カボニューの見える化の対象となる製品/サービスの手上げを募集

連携先募集：  
随時

インセンティブ

従業員が環境行動を登録しCO2排出・削減量を可視化するアプリを用いて、企業として従業員の行動変容を促し、環境社会実現を目指す

また、企業が社外に発信することで、環境問題に取り組む企業としての認知向上にも寄与する

提案者
NTTコミュニケーションズ

従業員の環境への意識向上・行動変容を促すアプリ「グリーンプログラム for Employee」の提供

企業・自治体
--------

企業として従業員の環境意識を向上/行動変容を促したい企業への参画を呼び掛けるもの

連携先募集：  
随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

### プロジェクト内容

### 参加企業・団体

#### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

#### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

従業員の行動によるCO2排出削減量を可視化し、複数企業で成果を出すことで、「従業員の行動変容の重要性」を社会に発信し、機運醸成を目指す

- 内容：行動可視化アプリを活用して、自社の従業員の教育/啓蒙を実施したい企業との合同キャンペーン実施
- 日時：7月25日-9月30日

#### 提案者

イーソリューションズ・NTTコミュニケーションズ・NTTコムウェア

企業へキャンペーン参加を呼びかけ、行動可視化データをアグリゲート・発信

企業/団体/国・自治体

「行動可視化アプリ」を活用した自社の従業員の教育/啓蒙のためのキャンペーンにて連携  
(現在6社より参加表明有り)

連携先募集:  
8/25まで

再エネ

Googleの技術を活用したオンライン太陽光発電シミュレーターを戸建てオーナーへ無料提供することで、既設住宅等への太陽光発電設備普及を促す

- 家庭等に向けて、創エネ、予測売電収入、補助金及び導入設備に係る収支情報や、CO2削減量など統合的に提供し、太陽光発電設備の導入意思決定をサポート
- 自治体に向けて、損益シミュレーション提供を通じ、各自治体に即した脱炭素の取組、市民啓発等に役立てていただく

自治体

自治体独自の補助施策の情報を掲載し、消費者に制度の活用を促す

連携先募集:  
随時

太陽光関連事業者

自社の特徴等を掲載し、消費者に太陽光発電システム導入を促す

連携先募集:  
随時

#### 提案者

東京電力

家屋に係る日射量を機械学習により解析し、太陽光発電導入収支/CO2削減量を自動算出するツール「Suncle」をオンラインで提供

xx: 前回協議会からの更新箇所

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

### 「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

### 「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

ワーケーション

滞在先地域における地域連携の観点  
を踏まえた拠点整備によりワーケー  
ションを促す

- ワーケーション利用者数を増やす  
ため、コミュニケーションをテーマに、  
地域のコミュニティと交流できる  
ワーケーションプランを提案

提案者

小田急

国立公園“箱根”の玄関口小田原をワーケー  
ション拠点として整備  
また箱根全体の未来の環境や観光についての  
共創拠点を整備

企業・自治体

ワーケーションプログラムを共同開発

ワー  
ケー  
ション

SDGsの普及啓発/実践と、  
ワーケーションの組み合わせ

自治体 /  
地域NPO等

ワーケーションの受入れ

提案者

損保ジャパン

ワーケーション参加者向けのSDGsの普及/実  
践に関する研修パッケージ(SDGsカードゲーム  
など)/保険の提供

# プロジェクトの進捗状況（個別）

巻末資料



- これまで全件の取組が実施/終了
- 新たに取組を実施/終了されたDATAFLUCTより、質疑応答・意見交換の場において取組の振り返りをいただく

## プロジェクト内容

## 参加企業・団体

インセンティブ

### サッカー観戦時の環境配慮行動に対するポイント付与

- 内容：スポーツの訴求力を背景に、環境配慮行動に応じてポイント付与を行い消費者の行動変容を促す
- 日時：2023年3月26日-6月17日

### 「場・機会」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

松本山雅  
FC

ホームゲーム開催日にスタジアムにて、啓発イベントを実施し、また日々の環境配慮行動に対してポイントを付与。次のホームゲームまでの期間でサポーターのCO2削減量の集計を行う

### 「製品・サービス」の提供者

#### 企業・団体名 期待される役割

提案者

DATAFLUCT

ポイント付与のプラットフォーム「becoz challenge」を提供  
各環境配慮行動によるCO2削減量を計算

## お問い合わせ先/ご連絡先



脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動・官民連携協議会事務局  
ボストン・コンサルティング・グループ (BCG)

E-mail : [Decarbonized@bcg.com](mailto:Decarbonized@bcg.com)

TEL : 03-6387-7198 (直通) ※9:30~17:30 土日祝除く



環境省 地球環境局 脱炭素ライフスタイル推進室

[室長] 井上 雄祐 (いのうえ ゆうすけ)

[担当] 井上 (昇)、酒井、金井、深澤、岩本、渡部

住所 : 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

Email : [chikyu-suishin@env.go.jp](mailto:chikyu-suishin@env.go.jp)

TEL : 03-5521-8341 (直通)

---

## 参考資料

---

# 「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」とは

- 本年のG7広島サミットも見据え、脱炭素につながる**新しい豊かな暮らし**の実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル 転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信します。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO2削減が求められます



しかし、国民・消費者の行動に具体的に結びついているとは、まだ言えない状況です



1 例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示します



2 国、自治体、企業、団体等で共に、**国民・消費者の新しい暮らしを後押し**します



来年のG7やG20等において、

- ・ 我が国から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイルの提案**
- ・ **官民連携によるライフスタイル・イノベーションの国際協調**を提案・発信することも視野



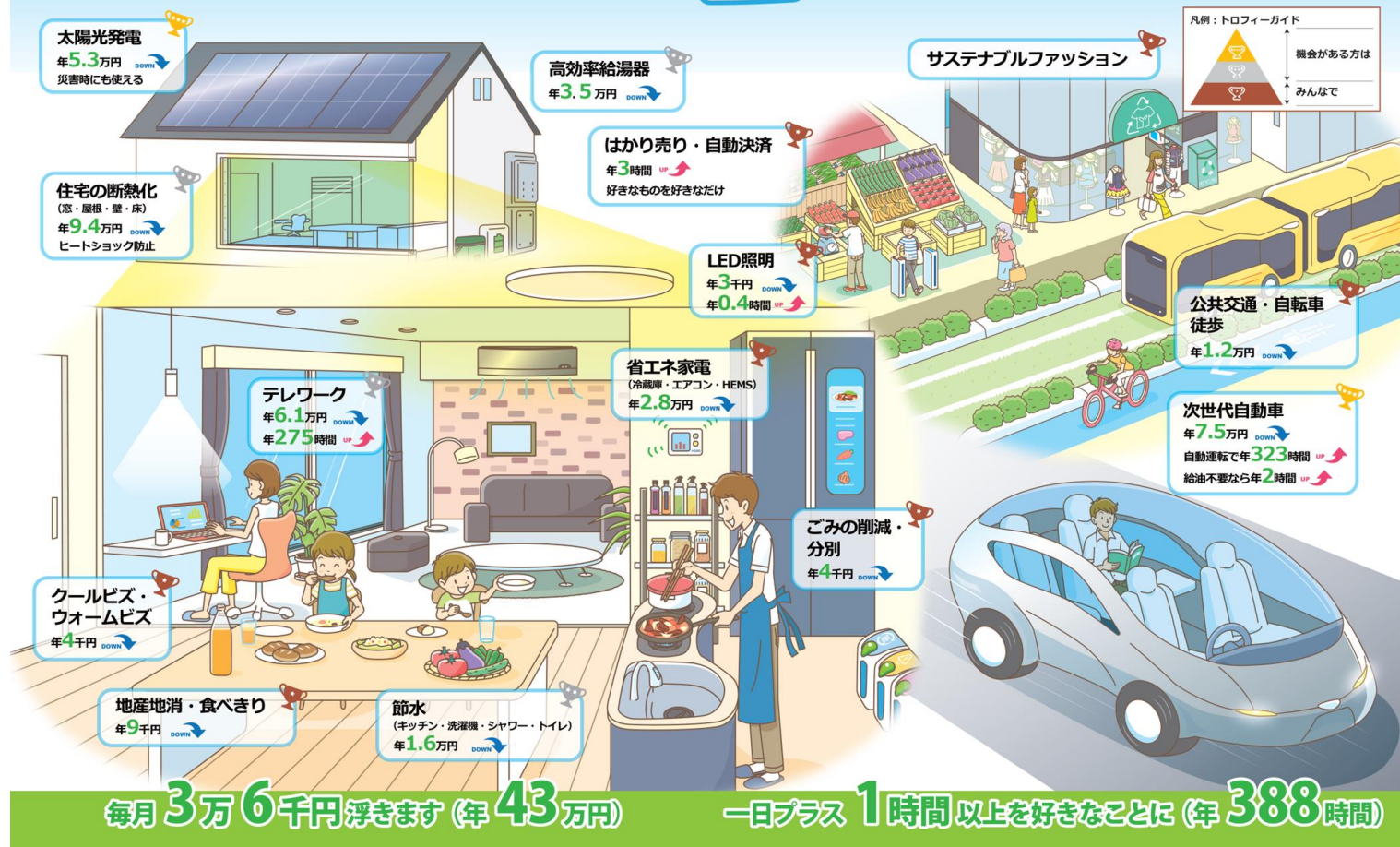
**国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出・マーケットイン**を促します



# 新たな国民運動の内容 ①

○ 今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する、新しい暮らしを提案をします

## 脱炭素につながる **新しい豊かな暮らしの10年後**



※ 新しい暮らしの根拠や数値のバックデータは環境省HP ([https://ondankataisaku.env.go.jp/cn\\_lifestyle/](https://ondankataisaku.env.go.jp/cn_lifestyle/)) で御確認いただけます。

# 新たな国民運動の内容 ②

○国、自治体、企業、団体、消費者等の主体が、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします

デジタルも駆使して、多様で  
快適な **働き方、暮らし方**  
を後押し（テレワーク、地方移住、  
ワーケーションなど）



1

脱炭素につながる新たな暮らし  
を支える **製品・サービス**を  
提供・提案



2

**インセンティブ** や効果的な  
情報発信（気づき、ナッジ）を  
通じた行動変容の後押し  
（消費者からの発信も含め）



3

**地域** 独自の（気候、文化等  
に応じた）暮らし方の提案、  
支援



4



脱炭素につながる新たな豊かな  
暮らしの全体像を**知り、触れ、  
体験・体感**してもらう様々な  
**機会・場（応援拠点）**を  
**アナログ・デジタル**問わず提供



今年度以降、地域・全国へ


# 新国民運動官民連携協議会について


○官民連携で効果的な実施につなげるため、国、自治体、企業、団体、消費者等による官民連携協議会（プラットフォーム）を、新しい国民運動と同時に立ち上げ、一体的な展開を図ります


## 「官民連携協議会」を立ち上げ



## 参加者間で協議し、以下のアクションを実施

- 

① デジタル活用や製品、サービスを組み合わせた新たな豊かな暮らしのパッケージ提案、機会・場の創出など消費者への効果的な訴求に向けた連携
- 

② 各主体の取組で得られた知見・経験・教訓の共有とベストプラクティスの横展開（グリーンライフポイント事業等）
- 

③ 政府施策への提案・要望（環境省普及啓発予算の具体的な使い道・アイデア等）

# 官民連携協議会の位置づけ、機能

- 国民運動全体の中での協議会の位置づけ  
= 国×自治体×企業×団体×消費者の連携・実践の場 & 最新情報・意見の共有・交換の機会
- プロジェクト提案・実施、施策への意見・要望、参画主体間のつなぎ・照会等を事務局がサポート  
➔ 皆様が“やりたいこと”を実現する場として、本協議会をフルスイングで御活用ください！

## 国民運動

### 官民連携協議会：例えば、

- 実証事業、普及啓発、実践事業・キャンペーン等の実施に対する関連予算の活用(シードマネー・呼び水的資金サポート等)
- 協議会の参画団体の皆様のご提案を踏まえた連携・マッチング
- G7/G20等におけるグローバルな発信・PRの機会の確保 など

641主体  
(219自治体、262企業、  
138団体、22個人)  
令和5年5月17日時点

10年後の絵姿



## 個々の取組、製品・サービス等の発信・PRなど

デジタルも駆使して、多様で快適な働き方、暮らし方を後押し(テレワーク、地方移住、ワーケーションなど)	脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービスを提供・提案
インセンティブ や効果的な情報発信(気づき、ナッジ)を通じた行動変容の後押し(消費者からの発信も含め)	地域 独自の(気候、文化等に応じた)暮らし方の提案、支援

ポータル登録数:205件  
(働き方・暮らし方:20件、製品・サービス:119件、インセンティブ:76件、地域:20件 ※重複有)  
令和5年5月17日時点

**脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る 国民運動**

2050年カーボンニュートラル及び2035年実質ゼロの実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を後押しするなか、新しい国民運動を創ります！  
脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの提案・取組をこねることに、国・自治体・企業・団体等に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。

提案・取組を登録しよう  
脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る提案・取組を登録し、国民・消費者の新しい暮らしを後押ししましょう

登録はこちらから(Google フォームが簡単です)

- 官民連携実践プロジェクトの**組成から実施、実施後フォローまで、事務局等がご支援**いたします。

➔ **マッチング、案件形成、シードマネー、発信PR、効果測定**など  
必要な範囲でご支援が可能ですので、事務局までお気軽にご相談ください

- このうち、シードマネーについては、
  - ① 事業ポートフォリオの一部に呼び水的に資金投入することで、
  - ② その後の自走、社会実装・拡大普及が見込まれ、
  - ③ 脱炭素に向けて費用対効果が高いものに対して**資金サポート**を行うものです。こちらも事務局までご相談ください

# 体験・体感の機会・場（脱炭素de豊かな暮らし応援拠点）の設定

- 幅広い国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革を進めるためには、
  - ① 脱炭素につながる豊かな暮らしを**具体的な製品・サービス**とともに知っていただくとともに、
  - ② 知るのみならず、**体験・体感**といった**共感**につながる**機会・場**が欠かせません

- こうした機会・場を消費者にニーズに応じて

- ・「アナログ」（人が多く集まるショッピングモールやモデルルームなど）、
- ・「デジタル」（メタバース、スマートフォンやアプリなど）の双方で

「**脱炭素de豊かな暮らし応援拠点**」として様々設定していく考えです



- 今後の流れとしては、

・今年度は、提案を基に実証事業（トライアル）としてモデル的に設定し、具体的な製品・サービスをお持ちよりいただく形で消費者訴求を試行する

- ・そこで得られた課題等を踏まえて、来年度以降、各地域・全国に拡大させていく 予定です

➡ 「機会・場」、「製品・サービス」等を積極的に御提案いただければ幸いです

- 本年5月以降に、①クールビズ×サステナブルファッション、②熱中症予防に向けたキャンペーンを順次展開することを考えています
- 「実践・体験の場」や「製品・サービス」をお持ちの企業、地域で旗を振られる自治体・団体をはじめ、本キャンペーンに賛同・連携いただける方を募りますので、奮って手上げをお願いします

### ①クールビズ×サステナブルファッション

- クールビズに、衣類のリサイクル/アップサイクル等、ひとつの衣服を長く活用するサステナブルファッションを併せ、新たな夏の装い創出につなげていきます
  - クールビズを軽装励行を超えた、TPOに応じた服装の自由化につなげていきます
  - サステナブルファッションの浸透促進により、大量生産・大量消費型から廃棄を少なくする循環型への移行を推進します



### ②熱中症予防

- 夏場の熱中症増加に備え、広く熱中症予防の必要性と重要性を呼びかけていきます
- 熱中症予防につながる「機会・場」や「製品・サービス」のご提案をお願いいたします



「新しい豊かな暮らし」における夏の過ごし方を是非ご提案ください

# 今後のスケジュール



本日

令和5(2023)年

令和6(2024)年

3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 2024年度 | 2025年度~

◆ 第5回

◆ 第6回

(G7札幌報告、  
予算ニーズ等)

◆ 第7回

(G7広島  
報告等)

◆ 第8回

(G20報告、  
10年ロード  
マップ①等)

◆ 第9回

(10年ロード  
マップ②等)

◆ 第10回

(10年ロードマップ  
③、令和6年度  
運営方針①等)

◆ 第11回

(年度内振り  
返り、令和6年  
度運営方針②等)

予算ニーズを  
特に伺い

政策に関する要望

応援拠点を地域・全国へ拡大

住宅省エネ化(断熱等)促進キャンペーン【経済対策】

【第1弾】服装改革・ファッション、デジタルワーク(国立公園・ワーケーション)

【第2弾】スイッチを消してお出かけ節電・省エネ

クールビズ×サステナブルファッション、  
熱中症予防キャンペーン

連携実践プロジェクト、普及啓発キャンペーン

インセンティブ付与、効果的な情報発信(ナッジ)プロジェクト

スモールグループでの議論・提案

暮らし10年ロードマップ検討・策定

取組・製品・サービス発信・PR(ポータル、SNS、プレスリリース等)

意見・  
提案・  
調整

官民連携協議会

登録、  
(随時)

新国民  
運動全般

イベント

令和5(2023)年  
3月 | 4月 | 5月 | 6月

G7  
日本

環境月間

概算要求

G20  
インド

COP  
28

令和6(2024)年  
1月 | 2月 | 3月

2024年度 | 2025年度~

大阪  
万博